施工時活用評価表

様式6－1

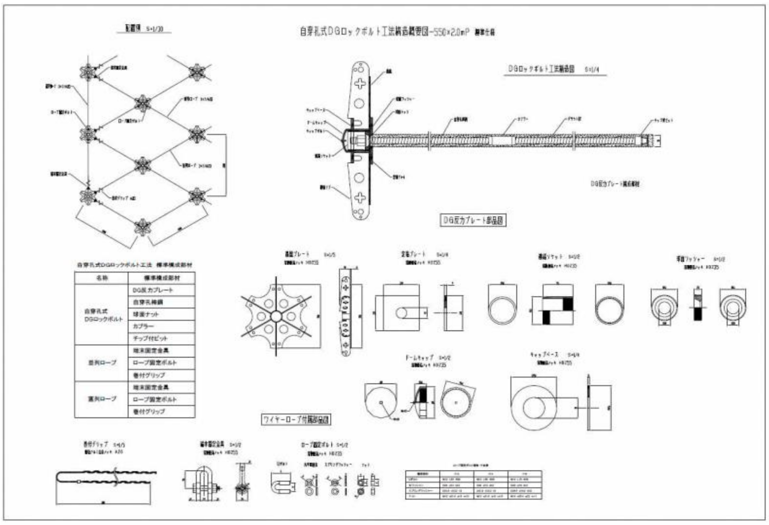
技術名　ロープ掛式ロックボルト工法	登録 No.
	2019D104

施工内容

施工年度	令和3年度
発注機関	長岡地域振興局農林振興部
工 事 名	予第11号　予防治山工事
施 工 地	長岡市東川口地内
施工数量	A＝317.4㎡

新技術の概要

本技術は斜面上の不安定土塊をロックボルト、反力プレート、ワイヤロープの組み合わせにより斜面、法面の安定化 を図る工法であり、樹木の伐採等を最小限に施工することが可能。反力プレートは軽量で持ちやすいため安全かつ容易に施工することが可能



活用評価結果

比較した従来技術	吹付法枠工（ロックボルト併用）	
項目	評価	評価内容
経済性	○	・立木伐採作業・処分費、法面整形で生じる残土の処理費等がなく経済的
工程	◎	・養生期間を省略できる ・使用部材が少なく運搬時間が軽減
品質 出来形	○	・支圧板の形状により施工精度や耐久性が向上
安全性	○	・部材が軽量のため運搬時等の安全性が向上
施工性	◎	・部材が軽量で、運搬用の仮設工が不要で、設置作業時の負担も軽減 ・熟練度を要する作業が少ない
環境	◎	・伐採木やリバウンド材等の廃棄物が減少 ・周辺景観との調和が向上
その他	—	

◎：優れている　　○：やや優れている
□：従来技術と比べて同程度
△：やや劣っている　　×：劣っている

活用上の留意点	—

新技術問い合わせ先

会 社 名	昌栄テクノ　株式会社
所属部課	代表
担 当 者	村山　正幸
T E L	025-755-5730